「車検」のある日本とないアメリカの違いを教えてください。

Eco Drive Auto Sales and Leasing
Ryo Okudaさん

ASEの資格8種全てを所持するMaster Mechanic。日本のトヨタのディーラーで8年間メカニックとして勤務し、トヨタ1級整備士を取得。アメリカでのメカニック歴12年間。

1327 W. 228th St., #A, Torrance
310-974-1816
Web: https://www.ecodriveautosales.com/
（プリウスを中心としたトヨタ車全般の整備を行っています）

日本の車検は、原則2年に1回、その車両が道路運送車両法という法律に反していないかをチェックするものです。この基準に反していれば車検を通らないので、その部分を修理します。アメリカには車検制度自体が存在しないので、車が安全に運行できる状態を保つ責任は全て車のオーナーにあります。

皆さん定期的にオイルチェンジのためにお店に行くと思いますが、私たちのようなメカニックは、ただオイルを交換しているだけではありません。同時に、車全体の「健康診断」をしているんです。一方、これがオイルチェンジのみをするショップだと、本当にオイルの交換のみで整備はしないケースが多いです。専門知識がないスタッフが対応している場合もあるので、注意が必要です。

いい整備士を見つけるポイントはありますか？

アメリカには、日本のような自動車整備における国家資格は存在しません。よって、誰でも「整備士／メカニック」を名乗ることができます。ですから、本当に信頼ができるメカニックなのか、しっかりと見極めることが大切です。気になる点について質問し、理路整然と答えてもらえるかどうか、人として信頼できるかを含め「この人に自分の車を任せられるか」という視点で見るようにするといいでしょう。アメリカでは分業制の傾向が強く、メカニックによって専門としているメーカーや車種があることが多いですから、自分の車を担当できるスペシャリストを探すことをお勧めします。

気候と車の状態の関係は？

車にとって良くないのは湿度と塩分。乾燥していて温暖な西海岸、特にカリフォルニアは車の機能面を考えればベストな環境と言えます。一方、雪が降る地域は、道に「凍結防止剤」をまくので、これに含まれる塩分は車をさびさせる原因になります。雪が降るのはその場所の環境なので防ぐことは難しいですが、凍結防止剤を使う雪の降る地域や、湿度の高い地域では、いいコンディションで乗れる期間はどうしても短くなるというのは頭に入れておくといいでしょう。

ハイブリッドカーや電気自動車で注意すべきことは？

そもそもハイブリッドは「掛け合わせ」という意味で、ハイブリッドカーはガソリンエンジンと電気モーターの掛け合わせで動く車のことです。ハイブリッドのうちガソリンエンジン部分の整備であれば（オイルチェンジなど）、一般的な整備士でも対応できます。一方、HVバッテリーなど高電圧系の不具合は、一般の整備士では対応が難しいケースが多く、ハイブリッド、電気自動車を専門にしている整備士に見てもらう必要があります。

ハイブリッドカーで多いトラブルは、モーターを動かすためのバッテリーです。バッテリーには寿命があるので、寿命になると交換が必要になります。ちなみにバッテリーは熱に弱いので、少しでもバッテリーを長く使うには、できればガレージに停める、外に停める時にはサンシェードをする、防犯上問題がなければ1センチでも窓を開けて換気するなど、車内の温度をなるべく上げないようにしてください。

また、ハイブリッドカーにはバッテリーを冷やす冷却ファンが付いているのですが、車内のホコリなどが詰まると冷却機能が弱まります。特にペットを乗せる方などは、動物の毛でここが詰まりやすいので注意しましょう。この冷却ファンは、2〜3年に一度は掃除をすることをお勧めしています。

車の盗難について教えてください。

新型コロナウイルスの流行後に増えているのが、車体の底面に付いている触媒の盗難です。一番安全な予防法はガレージに停めることですが、路駐をするしかない場合は、少しでも人通りのあるところに停めることを心がけてください。

※車の防犯については、『ライトハウス2021年6月16日号』「アメリカ防犯ガイド2021」でも詳しく解説しています。
https://bit.ly/3CYxaH3

整備・メンテナンスについてアドバイスはありますか？

心に留めておいていただきたいのは、車は買ったらそこからはオーナーのもの、全てオーナーの責任、ということです。とはいえ全て自分で整備するのは難しいですから、信頼できるメカニックを見つけることになるわけです。前述の通り、整備する人の経験値や専門性は本当にまちまちですから、整備に出しても必ずしも故障が直って返ってくるとは限らない、ということは覚えておいてください。セカンドオピニオンを聞くなども選択肢に入れて、自分の愛車の整備をするのをお勧めします。

ディーラーは、当然最新の情報を持っているものの、メカニックとは直接話ができないのが一般的です。私たちのような独立したショップだと、こうやってメカニックと直接話して車の様子を聞くことができますから、それはメリットの一つだと思いますよ。

これで解決！ 車の悩み